



箱根写真美術館

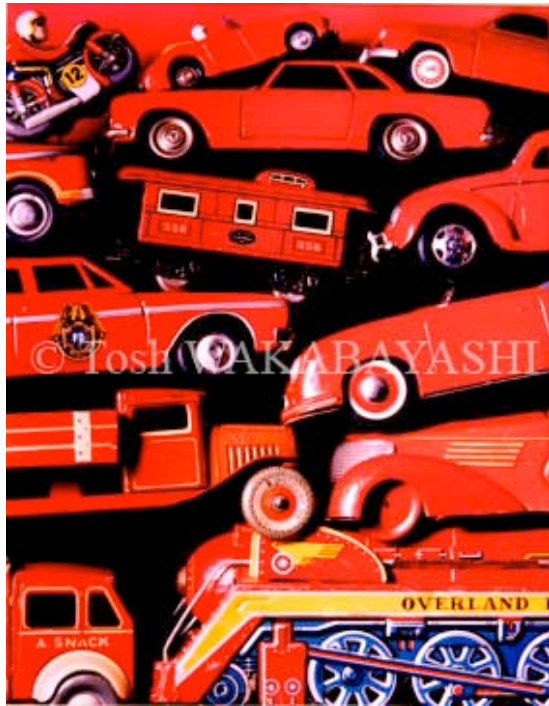
Hakone museum of photography

1960's AMERICAN CAR TIN TOY MADE IN JAPAN

TOSH WAKABAYASHI PHOTO EXHIBITION 4

会期：2011年8月24日(水)～9月19日(月祝) ※24日 15:00-17:00 作家来場

会場：箱根写真美術館 2F 展示室



<Tosh Wakabayashi>

1937年生。秋山庄太郎氏に師事。1961年日本デザインセンター入社。1967年渡米、ジョージ・カワモトスタジオに入社し、フォード社の車体撮影等を手掛ける。1969年帰国後、トシ・フォトグラフィー設立。1979年スタジオ・14設立。

日本を代表する名車 TOYOTA2000GT をはじめとする数々の TOYOTA 車のカタログ撮影を手掛ける。当時よりティントイを被写体とした独自の作品を次々と制作している。

ブリキのおもちゃ(TIN TOY ティントイ)をモチーフに、現実と虚構が交錯した独特の世界を作り出す写真家、トシ・ワカバヤシの世界。

1950年代、街を走るGIのガソリンエンジンJEEPを追いかけた子供時代。記憶にある方も多いのではないのでしょうか。この頃、日本の玩具製造技術は世界の頂点に立ち、日本から帰国するGI達が、お土産に、そして自身の憧れのフォードやスチュードベーカーを数多く買い求めました。精巧に作られたMADE IN JAPANが輸出されていたのです。そして当時制作された日本製のアメリカ車トイは今でも多数流通しています。

作者は、1960年代をアメリカで過ごし、1970年代からTOYOTAの広告写真を担当、車の広告写真界を牽引してきました。当時からコレクションを続けるアンティークトイと自身のアメリカ生活、撮影技術を重ね合わせ、作品制作されています。

一見、何気ない写真作品は、細かいディテールにこだわった緻密なジオラマと高度な撮影技術による光と影の演出、遠近感が計算され尽くしています。おもちゃが持つイメージから背景となる実写風景写真を選び、それぞれの時代、土地柄などに合わせてジオラマを制作し、全てを組み合わせてフィルムカメラで多重露光撮影をすることで1つの作品が生まれるのです。

ブリキのおもちゃが、子供達の夢、時代の流れ、科学の進歩、ファッションやデザインの移り変り等多く的话题をもっている。そんなブリキのおもちゃを被写体にした写真からも美しさ、楽しさ、思い出、発見、感動、親子や仲間との会話等を生み出す事が出来ると思う。写真は面白い。

(Tosh Wakabayashi)

[作品数] 約22点

[会場／問合せ先] 箱根写真美術館 2F 展示室 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1300-432 電話 0460-82-2717

URL <http://www.hmop.com> 開館時間：10:00-17:00 入館料：大人 500円(300円) ()内は小中学生※未就学児童は無料

休館日：火曜休館(祝日を除く) 常設展「遠藤桂 富士山写真展」もご覧頂けます。